

第1回目講座 7月31日(金)



企画政策課の担当者から「協働の町づくり事業」について説明があり、この活動を実施した「朴の会」からも講座の目的と3回の講座の講師の野尻紀恵氏(日本福祉大学・准教授)の紹介をした。



講座の内容

- 1・不登校の構造を知る
- 2・不登校とは何か
- 3・不登校支援の方法を考える
について講師の講義を受ける。



各回とも、講師のレクチャーを1時間、グループ討議を1時間、まとめを30分間の講座を各回完結という方法で実施した。



エコマップをつくることで課題を持っている不登校児とその家族や社会環境を明らかにし、その関係性を描き出し支援方法を明らかにしていくことを学んだ。

第2回目講座 8月4日(火)



エコマップをつくるための基本的な考えやジュノグラムで具体的な作業ルール・記号・図式の書き方を学んだ。
講師から「架空の不登校児」の事例が出された。



グループ（5～6人）ごとに「事例」に基づき解決の糸口を探った。
各グループで話し合った事で、わかりにくい部分や疑問な部分を講師に訪ね確認しながら話し合った。



各グループで話し合いをしながら、図に表すことで新しい発見があったことを、参加者の皆さんに発表し情報を共有した。



図形化した事で、問題が見えやすくなったり、話し合いが具体的になった部分が多く見られた。
グループの話し合いが活発になった。
各人の意見が活発に出されていた。

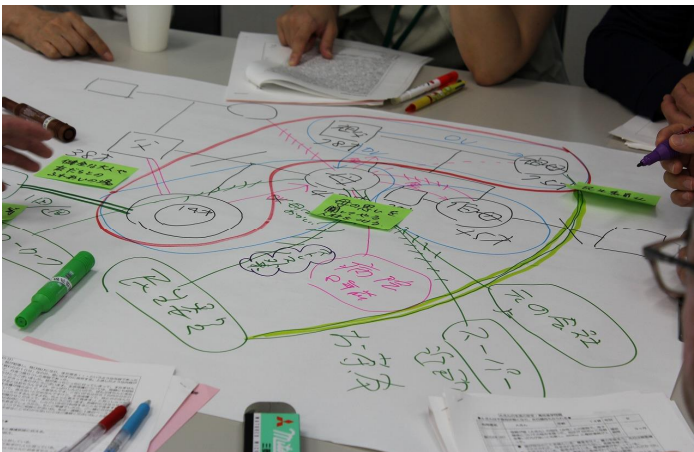
第3回目講座 8月26日(水)



各グループに教師・支援者・学生と立場の違ったメンバーが集まったが、意見を出すことを否定されないで、立場の違いを超えた違いのある意見が出て、楽しかったし学ぶことが多かった。



模造紙に書きこむ係りの人は、見やすい方法を考え、色別や地域で力になってくれそうな人の掘り起こしを提案し、関係図に書きこみ問題解決に向け、グループで考えていた。



参加者全員の「学び」・「知恵」・「思い」そして解決の糸口を探る集合模造紙が出来上がりました。



最後は、各グループの不登校児童・生徒への思いのこもった解決方法の第一歩である、「子供の姿」と「支援方法」が書かれた模造紙を各グループで見せあい、理解を深めることができた。